⚠ 安全にお使いいただくために

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に必ず、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。また、本書をお読みになった後は、いつでも見られるように大切に保管してください。

⚠ 警告 取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

- 煙が出ている、発熱している、変な臭いがするなどの異常が発生した場合は、パーソナル機器受付センターにご連絡ください。
- 落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。万一、本体が破損した場合は、パーソナル機器受付センターにご連絡ください。
- 万一、表示画面が破損して中の液晶（液体）が漏れた場合は、絶対に触れないでください。万一、口に入った場合はすぐにうがいをして医師と相談してください。
  また、もし液晶が手や衣服などに付着した場合は、直ちに石鹸で洗い流してください。
- 本機を分解したり、改造したりしないでください。火災や感電の原因になります。
- ＵＳＢケーブルは、使い方を誤ると火災や感電の原因になります。次のことは必ずお守りください。
  - ・ 束ねたり、結んだりしない。
  - ・ 濡れた手で USB ケーブルを抜き差ししない。
- USB ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重い物を載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電池は使い方を誤ると電池の破裂、液漏れにより、周囲の汚損やけがの原因になることがあります。次のことは必ずお守りください。
  - ・ 分解しない。
  - ・ 加熱しない、火の中に投入しない。
  - ・ 充電しない。

  本機に使用している電池を取り外した場合は、子供が電池を誤って飲むことがないようにしてください。また、電池は幼児の手の届かないところに置いてください。
  万一、子供が飲み込んでしまった場合は、直ちに医師と相談してください。

⚠ 注意 取扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

- 湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 本機の上には重い物を載せないでください。置いた物が倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。
- 本機の内部に、水や液体、異物（金属片）が入ると、火災や感電の原因になることがあります。その場合は、パーソナル機器受付センターにご連絡ください。
- プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。USB ケーブルを引っぱると、芯線の露出、断線など、コードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。
- 電池は使い方を誤ると電池の破裂、液漏れにより、周囲の汚損やけがの原因になることがあります。次のことは必ずお守りください。
  - ・ 指定以外の電池は使用しない。
  - ・ 極性（＋と－の向き）に注意して正しく入れる。
  - ・ 長時間使用しない時は、本機から電池を取り外しておく。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

お願いとご注意

- 計算機をふくときは乾いた柔らかい布をお使いください。絶対にシンナーやベンジン、ぬれ雑巾等はお使いにならないでください。
- 液晶表示部はガラスでできていますので強く押さえないでください。
- 低温の場所で使用すると、液晶表示の応答が幾分遅くなることがありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。

仕様

型　　式：キヤノン「LS-120TKⅣ」/「LS-12TKⅣ」
表　　示：液晶表示12桁
演算桁数：置数、被演算数/演算数;12桁
　　　　　結果; 上位桁優先12桁
使用温度範囲：0℃～40℃
外形寸法：160 mm(奥行)x 90 mm(幅)x 36 mm(高さ)(LS-120TK IV)
　　　　　132 mm(奥行)x 68 mm(幅)x 16 mm(高さ)(LS-12TK IV)
重　　量：142g(LS-120TKⅣ)/ 78.5g(LS-12TKⅣ)
電　　源：太陽電池および内蔵電池（本体裏面をご覧ください）
付属品：USB ケーブル(LS-120TKⅣ)
　　　　巻き取り式 USB ケーブル(LS-12TKⅣ)

◆改良のため、予告なく仕様の変更を行うことがありますので、あらかじめご了承ください。

電　源

本機は、太陽電池と内蔵電池の２電源を併用しております。電源は周囲の明るさにより自動的に太陽電池または内蔵電池に切換わりますので、照度の弱い所でもご使用いただけます。

＊内蔵電池は、長時間にわたりご使用いただくことができます。ディスプレイ画面の表示が薄くなった場合は、右の手順で電池交換を行ってください。

＊使用済みの電池は、＋極－極をテープで絶縁してから、お住まいの地方自治体の条例などに従って廃棄してください。

◆本機は約７分間操作を行いませんと、むだな電源消費を防ぐために自動的に電源が切れ、表示が消えます（オートパワーオフ機能）。この場合は、[CA]キーを押せば、再び電源が入ります。

本体裏面のRESETボタン

計算中にすべてのキーの機能が働かなくなる等の異常が発生した場合は、本体裏面のRESETボタンを先端の細いもので押してください。

＊RESET後は再度税率を設定し直してください。

修理お問い合わせ専用窓口

パーソナル機器修理受付センター
（全国共通番号）　050-555-99088

[受付時間] 9:00 ～ 18:00
(日曜、祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます)

製品取扱い方法ご相談窓口

キヤノンお客様相談センター
（全国共通番号）　050-555-90025

[受付時間]　平日　　　　9:00 ～ 20:00
　　　　　　土･日･祝日 10:00 ～ 17:00
(1月1日～1月3日は休ませていただきます)

※上記番号をご利用頂けない場合は、043-211-9632 をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。
※上記記載内容は、都合により予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

2010年4月1日現在

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

Canon
LS-120TKⅣ / LS-12TKⅣ
使用説明書

E-IJ-1216

2010年4月1日現在　上記の記載内容は都合により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

PUB. E-IJ-1216

２つのモードが選べます

本機には、通常の電卓として使用する電卓モードと、テンキーとして使用するテンキー（PC入力）モードの２つのモードがあります。パソコンに接続していない時は、電卓モードになります。USBケーブルでパソコンに接続中は、[テンキー]または[電卓]を使って、２つのモードを切替えることができます。[テンキー]でテンキー(PC入力)モードにすると、ディスプレイ画面に「PC入力モード」と表示されます。

電卓モード

電卓モードのときは、電卓としての機能がそのまま使えます。また、計算結果をパソコンに送信することができます。

[ON CA] **電源オン / クリアオールキー**：電源を入れる時に押すキーです。計算中にこのキーを押すと、メモリも含めた全ての計算をクリアします（税率はクリアされません）。

[ESC CI/C] **入力訂正キー**：入力した数値を訂正するキーです。誤って数値を入力した直後にこのキーを押すと表示がクリアされるので、正しい数値を入力し直すことができます。２回続けて押すと、計算途中の内容を全てクリアできます（メモリ計算の内容はクリアされません）。

[・ 小数桁指定 Del] **小数点桁指定キー**：演算結果の小数点以下の桁数を指定するキーです。指定位置は、小数点以下0、2、3桁、F（浮動小数点）です。[CA] キーの後に [・] キーを長押し（2秒以上）すると、F→0→2→3→Fの順に表示が変わります（[・] キーを押し続けると表示が自動的に上記の順に変わります）。

[%±] **パーセント・プラス・マイナスキー**：パーセント計算、割増し、割引き計算を行う時に使います。

[税率設定 税込] **税率設定・税込み計算キー**：税率の設定、税込み計算を行う時に使うキーです。あらかじめ計算したい税率を設定することができ、設定した税率で税込み計算を行うことができます。

[税率確認 税抜] **税率確認・税抜き計算キー**：税率の確認、税抜き計算を行う時に使うキーです。[CA] キーの後にこのキーを１回押すと、設定した税率が表示されます。また、設定した税率で税抜き計算を行うことができます。

[BS] **バックスペースキー**：表示された数値を１桁ずつずらし最下位桁をクリアするキーです。誤って入力した時に、１桁ずつ訂正することができます。

メモリ計算

[M±] **メモリプラスイコールキー**：数値または演算結果をメモリに加算する時に使います。

[M∓] **メモリマイナスイコールキー**：数値または演算結果をメモリから引く時に使います。

[RM/CM] **リコールメモリ／クリアメモリキー**：１回押すと、メモリ内の数値を呼び出します。続けて２回押すと、メモリ内の数値をクリアします。

PC 関連キー

[テンキー] [電卓] **テンキー/ 計算モード切替えキー**：パソコンに接続して使用する場合と、通常の電卓として使用する場合に、このキーで切り替えます。

[送信] **送信キー**：計算結果を、USBケーブルでつないだパソコンに送信するキーです。

計算結果の送信方法

計算結果がディスプレイ画面に表示された状態で、[送信]を押します。

※ パソコンと接続していない時は、[送信] キーは無効となります。
※ 計算結果を送信中に、キーを押しても無効となります。
※ 送信できるのは数値のみで、3桁位取りマークやM（メモリ）、＝などの計算状態表示シンボルは送信できません。
※ エラー中（Eシンボル点灯中）は送信できません。
※ 税率設定中は送信できません。
※ データ送信中に異常が発生した場合、画面に「Error」が表示され、データが送信できなくなります。その際には [CI/C] キーを押せば送信中の数値が画面に表示され、[CA] キーを押せば数値がクリアされ、画面に「0.」が表示されます。

パソコンとの接続方法

パソコンと接続して使うには、付属の USB ケーブルで本機とパソコンを接続します。
下記の手順で接続してください。

1 パソコンの USB ポートに、USB ケーブルを接続します。
※ 必ず、パソコン本体の USB ポートに接続してください。パソコン本体以外の USB ポートでは正常に動作しない場合があります。
2 本機の USB コネクターに USB ケーブルを接続します。
3 接続後、USB ドライバのインストールを行います。画面に表示されるメッセージに従って操作してください。
※ 使用するパソコン（OS）によっては、自動的に USB ドライバのインストールが行われます。
※ 本機のキー使用中に USB ケーブルの抜き差しはしないでください。

巻き取り式 USB ケーブル（LS-12TKIV）

ケーブルの左右を同時に引っ張りながら、長さを自由に調整してください。
ケーブルを収納する時も同様に、左右を同時に引っ張りながらケーブルを巻き取ってください。

◆計算を始める前に、必ず [CA] キーを押してください。

計算例	操作	表示
	[CA]	(0.)
140 – 25 + 22 = 137	140 [–] 25 [+] 22 [=]	(137.)
2 x 2 3 = 6	2 [×] 2 [CI/C] 3 [=]	(6.)
–152 x + 98 9 = – 53	[–] 152 [×] [+] 98 [BS] 9 [=]	(–53.)
9÷5x3.2+7–1=11.76	9 [÷] 5 [×] 3 [・] 2 [+] 7 [–] 1 [=]	(11.76)
(2+4)÷3x8.1=16.2	2 [+] 4 [÷] 3 [×] 8 [・] 1 [=]	(16.2)
二乗・累乗	[×]の後続けて[=]キーを（n-1）回押すと、n 乗が得られます。	
$4^3 = 64$	4 [×] [=] [=]	(64.)
逆数計算	[÷] [=] キーを続けて押すと、逆数を求められます。	
$\frac{1}{2} = 0.5$	2 [÷] [=]	(0.5)
定数計算	アンダーラインがひかれた数字が自動的に定数となります。	
2+3 =5	2 [+] 3 [=]	(5.)
4+3 =7	4 [=]	(7.)
1–2 =–1	1 [–] 2 [=]	(–1.)
2–2 =0	2 [=]	(0.)
2x3 =6	2 [×] 3 [=]	(6.)
2x4 =8	4 [=]	(8.)
6÷3 =2	6 [÷] 3 [=]	(2.)
9÷3 =3	9 [=]	(3.)
パーセント計算① 300 の 27%は？ $\frac{300 \times 27}{100} = 81$	300 [×] 27 [%±]	(81.)
パーセント計算② 11.2 は 56 の何%？ $\frac{11.2}{56} \times 100 = 20$	11 [・] 2 [÷] 56 [%±]	(20.)
割増し計算 1,200+(1,200 x 17.5%) = 1,410	1,200 [+] 17 [・] 5 [%±]	(1’410.)
割引き計算 1,200–(1,200 x 17.5%) = 990	1,200 [–] 17 [・] 5 [%±]	(990.)

メモリ計算

計算例	操作	表示
	[CA]	(0.)
3x4 = 12	3 [×] 4 [M±]	(M 12.)
–) 6÷0.2 = 30	6 [÷] [・] 2 [M∓]	(M 30.)
–18	[RM/CM]	(M –18.)
+) 200	200 [M±]	(M 200.)
182	[RM/CM]	(M 182.)
	[RM/CM]（メモリのクリア）	(182.)

税計算

計算例	操作	表示
税率の設定 (例: 5% に設定)	[CA] [税込] 5 [税込]	(税 % 5.)
確認	[CA] [税抜]	(税 % 5.)
税込計算 税抜表示額2,000円の場合の税込額/税額を求めます。(税率5%)		
税込額 = ?	2000 [税込]	(税込 2’100.)
税額 = ?	[税込] (LS-120TKⅣ)	(税額 100.)
	(LS-12TKⅣ)	(税額 100.)
税抜計算 税込表示額3,150円の場合の税抜額/税額を求めます。(税率5%)		
税抜額 = ?	3150 [税抜] (LS-120TKⅣ)	(税抜 3’000.)
	(LS-12TKⅣ)	(税抜 3’000.)
税額 = ?	[税抜] (LS-120TKⅣ)	(税額 150.)
	(LS-12TKⅣ)	(税額 150.)

◆[税込]/[税抜]キーを押すごとに、金額→税込額 / 税抜額→税額の順に表示されます。

オーバーフロー

次の場合は、オーバーフローサイン(E)を表示して、以降の置数、演算を停止します。オーバーフローは [CI/C] キーを押して解除してください。

(1)演算結果の整数部が 12 桁を超えた場合

演算結果は上位 12 桁のみを表示し、下位桁はカットされます。そのとき演算結果に小数点が表示されます。最上位桁から小数点までの桁数を数えると、カットされた下位桁の桁数を知ることができます。

計算例	操作 / 表示
123,456,789,012 x 10,000 = 1,234,567,890,120,000 (エラー：0,000)	123456789012 [×] 10000 [=] (E 1'234.56789012)

(2)メモリ内容の整数部が 12 桁を超えた場合(M が点滅します。)

メモリがオーバーフローしたときは [CI/C] [RM/CM] キーを続けて押せばオーバーフローする直前のメモリ内容を呼び起こすことができます。

操作	表示
333333333333 [×] 3 [M±]	(M 999'999'999'999.)
123 [×] 456 [M±]	(M E 1.00000005608)
[CI/C]	(M 1.00000005608)
[RM/CM]	(M 999'999'999'999.)

◆オーバーフローした計算結果はメモリに累積されません。

(3)除数が 0 の除算を行った場合

操作	表示
200 [÷] 0 [=]	(E 0.)

テンキー（PC入力）モード <NumLock非連動対応>

USB ケーブルでパソコンに接続した状態で [テンキー] キーを押し、テンキー（PC入力）モードにします。
※テンキー（PC入力）モード時は、ディスプレイ画面に「PC入力モード」と表示されます。

【NumLock 機能】

PC 入力モードで [Num Lock] を押すと、NumLock オン・オフの切替が出来ます。NumLock オン時には液晶に「Num」が表示され、数字（0 ～ 9）やキーに対応するコード、+、−、*、/、=、.（ピリオド）、決定、BS、ESC をパソコンに送信でき、数字の入力やカーソル移動が行なえます。

NumLock オフ時には液晶には「Num」は表示されず、数字キーをカーソルキーとして使用することができ、簡単にウィンドウをスクロールさせることができます。（数字キーの右端に印刷されている機能：Home、End、PgUp、PgDn、Ins、Del、←、→、↑、↓ を使用することができます）。

<テンキー（PC入力）モードのキー入力>

<NumLock オン時>　<NumLock オフ時>
※独立カーソルキーはLS-120TK IVのみに搭載されています。

※ 詳細は、左図をご参照ください。尚、PC 入力モードで左図のキー以外のキーを押しても無効となります。
※ NumLock オン時でも、パソコンの一部のキーがテンキーモードになることなく、アルファベット等の文字入力ができます（NumLock 非連動対応）。

注意

※ パソコンがスクリーンセーバーモードに入った時は、以下のキーを押してパソコンを通常の状態に復帰させることができます。（パソコンのスタンバイモードの解除はできません。）
・ 計算モード時：[送信] キーを押すと、パソコンを通常の状態に復帰させることができます。
・ PC 入力モード時：PC 入力モード時に機能するキーであれば、どのキーを押してもパソコンを通常の状態に復帰させることができます。
※ パソコンの入力設定が「かな入力」、入力モードが「ひらがな」の場合、「=」「,」が「ほ」「ね」とかな文字で入力されます。この現象を防ぐには、入力モードを「英数モード」にしてご使用ください。
※ PC 入力モード時に、USB ケーブルがしっかり接続されていないなどの問題があった場合には、自動的に計算モードへと切り替わり、画面に「0.」が表示されます。この場合には、接続を確認し再度 [テンキー] キーを押せば テンキー（PC入力）モードに戻ります。
※ Excel使用時に、PCの文字入力が半角英数に設定されていて、キーボードがNumLockオフの場合は、テンキー電卓の「マイナス(−)キー」を押すと拡張モードになります。

動作環境

● OS
2000 Professional/XP/Vista ™/Windows® 7の日本語版がプレインストールされていること
● パソコン
以下の条件を充たす IBM PC/AT 互換（DOS/V）機
① 2000 Professional/XP/Vista ™/Windows® 7の日本語版が動作可能で本体に USB ポートを装備しているもの
② 日本語キーボードを有しているもの
※ その他、2000 Professional/XP/Vista ™/Windows® 7が推奨する動作環境に準拠。
※ 機器の構成により正常に動作しない場合があります。
※ Windows® 3.1/95/NT/98/ 98SE/ Me上では動作しません。
※ 他の OS（Windows® 3.1/95/NT/98/ 98SE/ Me等）から 2000 Professional/XP/Vista ™/Windows® 7にバージョンアップされたパソコンでの動作保証はいたしません。
・ Microsoft® Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
・ IBM PC/AT は米国 IBM 社の登録商標です。

キーボードの入力がおかしい時には

Windows 2000 Professional/XP/Vista™/Windows® 7をご使用の場合、USB接続の外部入力機器（日本語キーボードやテンキー等）を接続すると、Windows Me/2000/XPが英語101/102キーボードと認識し、接続されている全てのキーボードが英語101/102キーボード配列で動作する場合があります。この場合デバイスマネージャーに表示されるデバイスの表示とドライバーの内容が一致せず、【@】を押すと【[　】が入力されるといった問題が発生します。以下の手順にて正常に復帰させることが可能です。

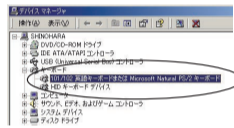
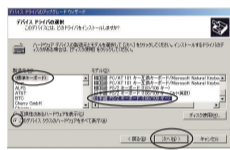
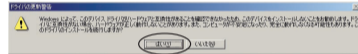
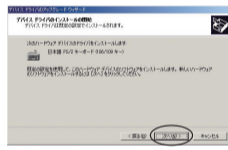
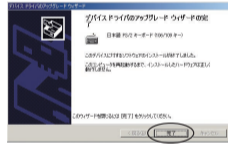
※ OS によってはデバイスマネージャー上のキーボードが最初から英語キーボードになっている場合がありますが、日本語入力が問題なく行える（例：@ が正常に入力できる）場合は、日本語キーボードに切り替える必要はありません。そのままご使用ください。

Windows 2000 の場合

1 Administrators 権限を持ったユーザーで Windows にログオンします。
2 【スタート】→【設定】→【コントロールパネル】の順に選択し、【システム】をダブルクリックします。
3 【ハードウェア】タブを選択し、【デバイスマネージャー】ボタンをクリックします。
4 【キーボード】アイコンをダブルクリックしキーボードを表示させた後、英語キーボートの名前をダブルクリックします。

5 【ドライバ】タブを選択し、【ドライバの更新】ボタンをクリックします。
デバイスドライバのアップグレードウィザードが表示されます。

6 【次へ】ボタンをクリックします。

7 【このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する】ラジオボタンを選択して、【次へ】ボタンをクリックします。

8 【このデバイスクラスのハードウェアをすべて表示】ラジオボタンを選択し、【製造元】から（標準キーボード）、【モデル】から現在お使いの日本語キーボード名を選択して【次へ】ボタンをクリックします。

9 下の画面が表示されたら、【はい】をクリックします。

10 【デバイスドライバのアップグレードウィザード】画面が表示されますので【次へ】ボタンをクリックします。ドライバのインストールが開始されます。

11 下の画面で【完了】ボタンをクリックします。

12 下の画面で【はい】ボタンをクリックします。
コンピューター再起動後、設定が有効になります。

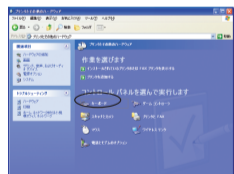
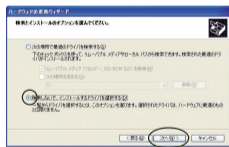
Windows XP の場合

1 【スタート】→【コントロールパネル】→【プリンタとその他のハードウェア】の順にクリックします。
2 【コントロールパネルを選んで実行します】の【キーボード】をクリックします。

3 【ハードウェア】タブをクリックし、【デバイス】に表示されている英語キーボードの名前をクリックします。次に、【プロパティ】をクリックします。

※ クラシック表示に設定されている場合は、【スタート】→【コントロールパネル】→【システム】→【ハードウェア】タブ→【デバイスマネージャー】→【キーボード】の順にクリックし、表示されている英語キーボードの名前をクリックします。

4 【ドライバ】タブをクリックし、【ドライバの更新】をクリックします。

5 【一覧または特定の場所からインストールする（詳細）】をクリックし、【次へ】をクリックします。

6 【検索しないで、インストールするドライバを選択する】をクリックし、【次へ】をクリックします。

7 【互換性のあるハードウェアを表示】チェックボックスをオフにします。次に、【製造元】ボックスの一覧から【(標準キーボード)】をクリックし、【モデル】ボックスの一覧から現在お使いの日本語キーボード名をクリックします。そして【次へ】をクリックします。

※ ご使用のモデルによっては、下記のメッセージが表示されます。メッセージが表示された場合は【はい】をクリックします。

8 【完了】をクリックします。

9 【閉じる】をクリックします。再起動する旨のメッセージが表示された場合、【はい】をクリックするとすぐにコンピュータを再起動します。

Windows Vista™ の場合

方法 1

1 【スタート】→【コンピュータ】を右クリックし、【プロパティ】をクリックします。
2 システムの左側に表示されるタスク一覧から【デバイスマネージャ】をクリックします。管理者パスワード、または確認のメッセージが表示されたら、【続行】をクリックします。

3 リストより【キーボード】の左側に表示されている【 + 】をクリックして展開します。

4 表示されたキーボードデバイス名をダブルクリックします。

5 【ドライバー】タブを選択し、【ドライバーの更新】ボタンをクリックします。

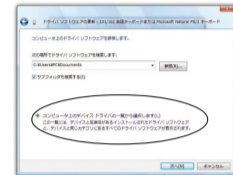
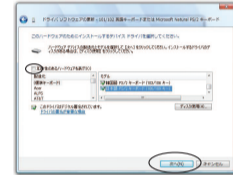
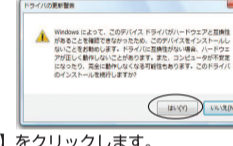
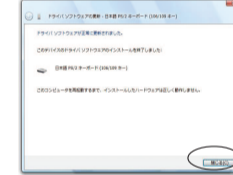
6 【自動的に更新されたドライバーソフトウェアを検索します】をクリックします。

7 【OK】をクリックし【デバイスマネージャ】を閉じます。再起動する旨のメッセージが表示された場合、コンピュータを再起動します。

上記操作解決しない場合は方法 2 の操作で、日本語キーボードを指定します。

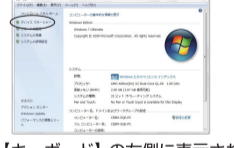
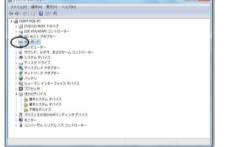
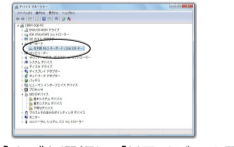
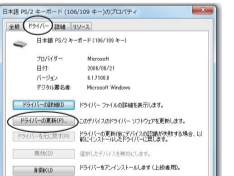
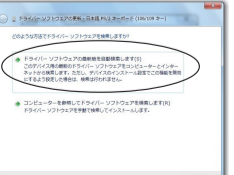
方法 2

1 前述の『方法 1 』の手順 1 ～ 5 までを行います。
2 【コンピュータを参照してドライバーソフトウェアを検索します】をクリックします。

3 【コンピュータ上のデバイス　ドライバーの一覧から選択します】をクリックします。

4 【互換性のあるハードウェアを表示】のチェックボックスをオフにします。
5 【モデル】ボックス内をスクロールして【日本語PS/2キーボード(106/109 キー)】をクリックし、【次へ】ボタンをクリックします。

6 下記のメッセージが表示される場合は【はい】をクリックします。

7 【閉じる】をクリックします。

8 【OK】をクリックし【デバイスマネージャ】を閉じます。再起動する旨のメッセージが表示された場合、コンピュータを再起動します。

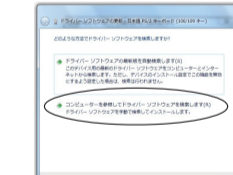
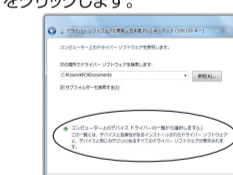
Windows 7® の場合

方法 1

1 【スタート】→【コンピュータ】を右クリックし、【プロパティ】をクリックします。
2 システムの左側に表示されるタスク一覧から【デバイスマネージャ】をクリックします。管理者パスワード、または確認のメッセージが表示されたら、【続行】をクリックします。

3 リストより【キーボード】の左側に表示されている【▷】をクリックして展開します。

4 表示されたキーボードデバイス名をダブルクリックします。

5 【ドライバー】タブを選択し、【ドライバーの更新】ボタンをクリックします。

6 【ドライバーソフトウェアの最新版を自動検索します】をクリックします。

7 【閉じる】をクリックし【デバイスマネージャ】を閉じます。再起動する旨のメッセージが表示された場合、コンピュータを再起動します。

上記操作解決しない場合は方法 2 の操作で、日本語キーボードを指定します。

方法 2

1 前述の『方法 1 』の手順 1 ～ 5 までを行います。
2 【コンピュータを参照してドライバーソフトウェアを検索します】をクリックします。

3 【コンピュータ上のデバイス　ドライバーの一覧から選択します】をクリックします。

4 【互換性のあるハードウェアを表示】のチェックボックスをオフにします。
5 【モデル】ボックス内をスクロールして【日本語PS/2キーボード(106/109 キー)】をクリックし、【次へ】ボタンをクリックします。

6 【閉じる】をクリックします。

7 【OK】をクリックし【デバイスマネージャ】を閉じます。再起動する旨のメッセージが表示された場合、コンピュータを再起動します。

PUB. E-IJ-1216